



7月号

# 学校だより

令和元年 7月 1日

さいたま市立植竹小学校

〒331-0813 さいたま市北区植竹町2-1

TEL 048-663-7627

FAX 048-663-9885

E-mail uetake-e@saitama-city.ed.jp

学校教育目標 ○すすんでまなぶ子 ○たすけあう子 ○げんきな子

児童数 743名

## ようこそ先輩

校長 関根 正佳



早いもので梅雨に入り3週間ほどがたちました。アジサイの花が梅雨の雨にぬれて、鮮やかさを増し、目を楽しませてくれています。また、校長室で育てているカブトムシの幼虫がさなぎになり、数匹成虫にかえりました。子どもたちに見せるのが楽しみです。

本校では、「盆栽教育」を始めて今年の6年生が13代目になります。昨年11月に真柏（しんぱく）の若木の剪定や不要な根を切ったり、鉢に植え替えたりする作業を行い、マイ盆栽を作りました。本校の卒業生であり「清香園」5代目の山田香織先生をはじめ、ぼんさい遊々、盆栽ボランティア、盆栽ジュニア等の皆様方に御協力をいただきながら、活動を進めています。6月28日には、少し成長した盆栽の手入れ等の作業を行いました。「盆栽教育」を通して、山田先生をはじめ卒業生やボランティアの方々とかかわりや、盆栽という文化に接して、大きな輪が広がっていることを実感しています。（※詳しい盆栽教育に係る資料は本校2階の通路に展示していますので御覧ください。）

さて盆栽ジュニアの一員として活動してくれていた、本校卒業の森高雪菜さんと弟の駿さん姉弟が、昨年度末に私のところへ訪ねてきてくれ、「日本文化英語プレゼンコンテスト」で全国4位に入ったという報告を受けました。発表のテーマは、「美で世界を繋ぐ 盆栽の聖地埼玉から」で、盆栽の魅力や歴史をはじめ、盆栽美術館、本校の「盆栽教室」の授業も紹介してくれました。また雪菜さんは、ボランティア活動を通して海外への留学経験も豊富で、今までの経験談も交え報告してくれました。その豊かな経験を是非6年生に話して欲しいと伝えると、快く引き受けてくださいました。（当日はお姉さんの雪菜さんからお話をいただきました。）子どもたちには、雪菜さんが各学校での生活を通して学んだことや、盆栽とかかわりから得たこと、発展途上国でのボランティア活動等について、話をいただきました。その時の子どもたちの感想を一部紹介します。

★盆栽でつながっている小学生の頃の友達がいることに驚きました。卒業しても盆栽の手入れをしっかりやって長生きしてくれるよう育てていきたいと思います。

★今やるべき挑戦をやり続けるということの大切さを知りました。いつもは「できない」と思うとやめてしまうけど、お話を聞いてできそうもなくても、「もう1回挑戦してみよう」という気持ちになり、できなかったことをチャレンジしてできるようにしたいです。

★自ら足を運んで貧しい国に行くというのはとても勇気のいることだと思います。私は将来看護師になりたいと思っています。森高さんの話を聞いて夢が広がりました。看護師になったら、発展途上国へ行って多くの人を助けたいです。日本文化英語プレゼンコンテスト4位入賞おめでとうございます。

★私が心に残ったことは、相手の大切なものを自分も大切にすることです。思いやりや親切な心は、みんなに共通しているものなので、日ごろから意識していけば外国の方々とも仲良くなれると思います。

森高さんの前向きな生き方に、共感したり憧れたり、自分の生活と照らし合わせる等、様々な感想がありました。なによりも子どもたちの聞いているときの表情や眼の輝きが、素晴らしい出会いになったことを物語っていました。中学校へ向けて、不安や期待等複雑な心境の中、自分の今を見つめなおす良い機会だったと思います。少し遅くなりましたが、森高先輩ありがとうございました。

